

令和4年度（2022年度） 札幌市立大学大学院デザイン研究科（博士後期課程）

横断型連携特別演習 最終成果発表会 プログラム

日時：令和4年7月21日（木）18：10～

場所：オンライン（Teams）

1. 授業概要説明（科目担当者：三谷）

2. 成果発表

1発表につき、発表20分+ディスカッション25分=45分間

予定時刻	発表題目／概要		グループ（発表学生1名+担当教員2名）
18:15	題目	積雪寒冷地の住宅における内包化された外層空間の熱特性とその活用法 - 札幌圏の住宅作品を事例として -	デザイン研究科 人間空間デザイン分野 吉田 修（発表者）
～ 19:00	概要	積雪寒冷地の住宅は、高い断熱・気密性によって居住快適性が格段に高まったが外部環境との関わりは徐々に消失しつつあると予想される。一方、断熱・気密層の外側の内包化された空間（外層空間）をもつ住宅は、住まい手の外部環境との関わりがある行動を創出する可能性がある。本研究では、札幌圏にあるこれらの住宅作品の熱環境実測と住まい手の環境調整行動・活用行動の調査を行ない、積雪寒冷地の新たな住宅の設計手法と生活価値の可能性を提示する。	デザイン研究科 人間空間デザイン分野 大島 卓 准教授 デザイン研究科 人間情報デザイン分野 金 秀敬 准教授